

第2回病院連絡会結果の概要①（大阪市二次医療圏）

資料3

1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン等^{※1}の提出状況

【第2回医療・病床懇話会資料】

保健所名	公立・公的・民間等	対象 ^{※2} 病院数 (A)	出席病院数 (B)	参加率 (B)/(A)	病院プラン提出病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	病院プラン調査未提出病院 (第2回病院連絡会開催時点)
北部基本医療圏	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	5	4	80.0%	5	100.0%	
	民間等	29	21	72.4%	25	86.2%	神原病院、明德病院、貴生病院、淀川若葉会病院
	合計	36	27	75.0%	32	88.9%	
西部基本医療圏	公立	0	0		0		
	公的	4	4	100.0%	4	100.0%	
	民間等	23	16	69.6%	20	87.0%	首藤病院、大場内科病院、名取病院
	合計	27	20	74.1%	24	88.9%	
東部基本医療圏	公立	1	1	100.0%	1	100.0%	
	公的	5	5	100.0%	5	100.0%	
	民間等	57	38	66.7%	48	84.2%	高津病院、聖バルナバ病院、西下胃腸病院、外科野崎病院、新協和病院、三和病院、生野中央病院、関目病院 牧整形外科病院（病院プラン対象外）
	合計	63	44	69.8%	54	85.7%	
南部基本医療圏	公立	1	1	100.0%	1	100.0%	
	公的	2	2	100.0%	2	100.0%	
	民間等	45	35	77.8%	43	95.6%	東和病院、松井記念病院
	合計	48	38	79.2%	46	95.8%	
合計	公立	4	4	100.0%	4	100.0%	
	公的	16	15	93.8%	16	100.0%	
	民間等	154	110	71.4%	136	88.3%	
	合計	174	129	74.1%	156	89.7%	

※1:公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査

※2:病院連絡会の対象は、病床機能報告対象病院

第2回病院連絡会結果の概要②（大阪市二次医療圏）

2 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

- 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）について、病院連絡会において認識の共有を図った。
- 各グループでは、以下のような意見が出された。
 - ・ 公的病院と民間病院では立場が違うので、役割分担を図るべきであり、医療構想を進める上でその点を考慮すべきである。
 - ・ 病院連絡会での病院のデータ提供は必要と考えるので、これからも継続したデータ提供と、そのフィードバックをお願いしたい。
 - ・ 日頃から病院間の連絡連携はとれているので、区単位ではなくもっと広域での病院が集まる場も検討してほしい。
 - ・ 大阪方式について、具体的に示してほしい。
 - 必要な機能別病床は、比率なのか絶対数なのか。ブロックで考えるのか市で考えるのか。
 - 基準は基準病床数なのか既存病床数なのか。
 - ⇒ 本件については、連絡会当日、大阪府より説明した。

● 2025年に向けた各病院の病床機能転換検討状況総計（大阪市二次医療圏）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	全体
公立	102	33	0	0	135
公的	▲ 303	279	13	0	▲ 11
民間等	491	▲ 684	242	▲ 195	▲ 146
合計	290	▲ 372	255	▲ 195	▲ 22

第2回病院連絡会での各グループごとの意見

グループ	区の課題や特徴	病病連携・病診連携	病院の統合や移転、法人内連携
北部	A 北区		
	B 都島区 旭区	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立総合医療センターを中心として、地域の病院との間で、病病連携（さくらネット）を構築し、連携を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明生記念病院・明生病院・協和病院（明生グループ）として、総合的な検討をする。
	C 淀川区 東淀川 区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域的には、圏域外の吹田市や豊中市の患者の行き来があるので、他の区とは少し様相が違う。 ・家族や患者がどこまでの医療を求めているのが難しく、淀川区では在宅医療が充実していない。 ・医療ニーズが低く、在宅が可能でも、社会的・経済的要素により療養環境が整わないために、長期入院となっている患者もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（意見）医誠会病院が区外に移転した場合、救急医療として受けれるキャパが小さくなる。基本的には、東淀川区と淀川区内で対応していきたいと考えているが、担っていけるのかどうか分からない。

3 公立病院・公的病院・民間等病院（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院）の一覧（大阪市二次医療圏）

【北部】

No.	区分 1公立 2公的 3民間等	区	医療機関名	第2回 病院連 絡会 出席状 況	第2回 病院連 絡会 で プラン 内容 を 修正報 告	許可病床 数	2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無										非稼働病床について（一般病床・療養病床）		当該病院に対する 他病院からの意見 ※（別紙） 第2回病院連絡会 各グループごとの 意見に記載			
							（転換 数） 高度急性 期 ※報告実 績より算 出	（転換 数） 急性期 ※報告実 績より算 出	（転換 数） 回復期 ※報告実 績より算 出	（転換 数） 慢性期 ※報告実 績より算 出	（転換 数） 合計	介護医 療院へ の転換	介護老 人保健 施設へ の転換	その他 介護施 設・福祉 施設へ の転換	第2回病 院連絡会 以後の転 換予定病 床	【プラン・連絡会での病院の説明】		非稼働病床数 （許可病床数一 稼働病床数）		【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由 （非稼働病床を有する理由）		
																機能変更 （予定） 時期	具体的なプラン					
1	1 公立	都島区	大阪市立総合医療センター	○		975	0	0	0	0	0											
2	1 公立	淀川区	大阪市立十三市民病院	○	○	224	5	▲5	0	0	0											
3	2 公的	北区	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 豊阪府済生会中津病院	○		712	▲30	▲99	▲33	0	▲162			○	2024年	・2024年秋に病院を二つにする。 ①中津本院は550床へダウンサイジングし、高度急性期＋急性期に特化 ②大淀南旧プラザ跡に96床の介護の病院（回復期病院）						
4	2 公的	北区	健康保険組合連合会 大阪中央病院	○		143	0	0	0	0	0			○	未定	・地域包括ケア病床への変更を検討開始している。 ・3フロアで健診を行っており、予防医学を充実し、外来、入院へ繋げいく体制で運用したい。						
5	2 公的	北区	公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院	○		687	2	▲2	0	0	0			○	未定	・現時点では2025年に向けた変更は検討していないが、事務、医局を新棟に移し現建物を改修し、高度医療を行えるようにする。 ・回復期に近い急性期は現在あり、また緩和ケアも行う必要があると考えている。						
6	2 公的	北区	大阪整肢学院	×		100	0	0	0	0	0											
7	2 公的	東淀川区	宗教法人 在日本南ブレスピテリアンミッション 淀川キリスト教病院	○		581	0	0	0	0	0			○	未定	・地域の基幹病院として、救急医療、周産期医療を担っている。 ・こどもホスピス病院の休院により、96床の休床が現在あるが、回復期～在宅への機能を担う方向で検討をしていきたい。						
8	3 民間等	北区	医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院	○		171	0	2	0	0	2			○	未定	・今後は急性期のみではなく高度急性期、HCUを充実させ、余剰ベッドを地域包括ケアに移行する予定である。	2	近年は、病床で治療に必要な医療機器等が増えたため、二人部屋等を一人で利用するケースが多い。また感染症患者を隔離する部屋として、二床部屋等を一名で使用している。				
9	3 民間等	都島区	医療法人 桜希会 東朋病院	×		100	0	0	20	▲20	0											
10	3 民間等	都島区	社会医療法人 明生会 明生病院	○	○	195	0	▲25	25	0	0			○	未定	・急性期から回復期に25床転換（転換はすみ） ・老朽化で建て替え時には、病床数減等により、入院環境の整備を図る予定 ・地域包括ケア病棟の検討						
11	3 民間等	都島区	医療法人 正正会 分野病院	×		100	0	▲52	0	▲48	▲100					・2025年の病床機能未記入のため						
12	3 民間等	淀川区	大阪回生病院	○	○	300	0	0	0	0	0			○	未定	・一般病床46床を「地域包括ケア病棟」へ変更していきたい						
13	3 民間等	淀川区	大阪治験病院	×		53	0	0	▲1	0	▲1						53	（稼働病床数未記入）				
14	3 民間等	東淀川区	医誠会病院	○		327	297	▲297	0	0	0			○	2022年	・2022年に城東中央病院と合併し、北区に健康文化の発信基地として、高度急性期病院として開院する予定としている。（急性期297→高度急性期297） ・東淀川区や淀川区の医療も継続して担ってきたい。						
15	3 民間等	東淀川区	成仁会病院	×		60	0	▲12	12	0	0											
16	3 民間等	旭区	真心会病院	×		75	0	1	0	▲1	0											

【病院プラン調査 当日提出】

17	3 民間等	淀川区	東淀川病院	○		92	0	0	0	0	0					・廊下幅の規制の問題やスプリンクラー設置費用の問題で回復期へ病床変更することは難しい ・老朽化・耐震化・建て替えなどの問題がある。	92→0	・稼働病床数未記入による誤りで、非稼働病床はなし		
----	-------	-----	-------	---	--	----	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	------	--------------------------	--	--